

「日輪杯空手道交流選手権大会競技規程」

(形競技)

1. 競技はフラッグ式、トーナメント制を採用。
2. 各コートにて決勝まで行う。
3. 幼児の部は全空連基本形より選出。同じ形を何度使用してもよい。
4. 小学生はベスト 16 までは全空連基本形より選出。ベスト 8 以降は全空連第 1.2 指定形、自由形でもよい。但し小学生は 1 回戦から決勝まで同じ形（全空連基本形）でもよい。
5. 中学生・高校生・一般・シニア男女については、1 回戦は「第 1 指定形」より選出、2 回戦は「第 2 指定形」より選出。以降（3 位決定戦を含む）は第 1、2 指定形（これまで使用した形もよい）及び自由形とする。ただし、決勝戦は一度演武した形を使用してはならない。なお、参加人数の都合上、1 回戦が決勝となる場合は自由形でもよい。2 回戦が決勝となる場合は、1 回戦で使用した以外の形を使用すること。
6. 選手は演武する前に必ず演武する形名を記録係に伝えること。

(組手競技)

1. 競技はトーナメント制。
2. 組手競技の勝敗は各クラスとも 6 ポイント先取とする。
3. 各コート決勝戦まで行う。
4. 競技時間については幼児・小学生・シニアが予選～決勝まで 1 分間のフルタイム。中学生・高校生・一般男女については予選～決勝まで 1 分 30 秒のフルタイムとする。
5. 各安全防具は J K F、W K F 認定品を採用。それ以外は認めない。
7. 当大会は 10 カウントルールは採用しない。治療を優先する。
8. カテゴリー 1、2 の反則について審判員は厳しく対処し、事故の未然防止に心がける。
9. 倒れた、もしくは倒した相手に対する「蹴り」による攻撃は危険行為とし、技が決まってもウォーニングとする。（※突きはポイントとみなす）
10. 選手は礼節を重んずること。

※各競技の判定はコート長および主審に一任し、判定についての抗議等は一切認めない。

ゼッケンについてはゼッケンシート（氏名入り）をこちらで用意しますので作成しなくていいです。